

2022年2月25日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ
代 表 者 名 代表取締役社長 吉野勝秀
問 合 せ 先 取締役管理部長 小野澤歩
T E L 047-383-7001
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

MBO 実施による当社子会社株式の譲渡に関するお知らせ

当社は、2022年2月25日開催の取締役会において、株式会社新東京開発代表取締役林伸孝氏によるマネジメント・バイアウトの要望を受け、同社の株式を100%売却することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式売却の理由

当社グループは、環境プロデュース事業を主力事業として平成4年の創業以来循環型社会の担い手としての責任を継続して果たしております。今回譲渡対象会社となる株式会社新東京開発は、当社グループの第一号の設立法人であり当社グループの礎でもあります。

今回、同社代表の林伸孝氏よりマネジメント・バイアウト(MBO:経営陣が事業の継続を前提として対象会社の株式を取得する取引)の申し出を受け熟考いたしました。当社グループのみならず新東京開発のステークスホルダーにおいても、最良の結果となると鑑み、今回の決定をいたしました。

当社グループは創業以来30年弱の歴史を重ねてまいりましたが、昨今新しい社会構造へと大きく変化する中、当社グループの方向性を変革していくべきだと強く感じております。その中で、従来の受託請負型の事業主体モデルから自ら価値を創り出していく投資主体モデルへの進化をしようとしております。これまでの新東京開発は当社グループの紛れもない中核企業ではありましたがこれからの当社グループの中では多々ある事業体の一翼という位置付けになると想定しておりました。このような状況下、林氏によるマネジメント・バイアウトは新東京開発が主役として継続して活躍できる最も良い形だと考えた次第です。

他の名だたる企業が、創業以来と言われている事業を売却もしくは廃業する事例は枚挙に遑がありません。当社グループにおきましても進化の過程における必要な決断と考えております。

従来、新東京開発および株式会社エコロジスタにて行っておりました産業廃棄物の中間処理を自社で直接処理する事業は一旦休止といたしますが、収集運搬や間接処理によりさまざま

まなお客様に静脈物流サービスを提供する環境プロデュース事業につきましては、当社グループ企業のエコロジスタに集約して継続してまいります。

当社グループは、産業廃棄物の分別処理という役務提供の枠を超え、投資型企業として循環型社会の担い手としてだけではなく、幅広い経済活動を通じて皆様のお役に立ちたいと考えております。

2. 異動する子会社の概要

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 名称 | 株式会社新東京開発 |
| (2) 所在地 | 千葉県松戸市常盤平陣屋前3番 21 号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 林 伸孝 |
| (4) 事業内要 | 環境事業 |
| (5) 資本金 | 8,660万円 |
| (6) 設立年月日 | 平成4年7月7日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 株式会社新東京グループ 100.0% |

3. 株式譲渡の相手先の概要

今回の譲渡は、対象法人の代表取締役林伸孝氏によるマネジメント・バイアウトによるものであり、具体的な株式取得個人もしくは法人の概要は、取得者の意向により、非開示とさせていただきます。

4. 譲渡株式数、及び譲渡前後の所有株式の状況

- | | |
|---------------|-------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 248,000 株 |
| | (議決権の数:248,000 個) |
| | (議決権所有割合:100.00%) |
| (2) 譲渡株式数 | 248,000 株 |
| | (議決権の数:248,000 個) |
| (3) 異動後の所有株式数 | 0 株 |
| | (議決権の数:0 個) |
| | (議決権所有割合:0.00%) |

5. 日程

2022 年2月 25 日 当社取締役会決議

2022 年2月 25 日 株式譲渡代金受領

以上